



5月の松本は、工芸でいっぱい さあ「工芸の五月」です

●問い合わせ 松本クラフト推進協会 (☎34-6557 ㊟34-6545)
市役所商工課 (☎34-3110 ㊟34-3008)

今年
は
クラフトフェア30周年

松本では、第二次世界大戦後に柳宗悦が唱えた民芸運動が広がり、民芸のまちとして定着しました。そして、工芸の作り手が松本に集まるようになり、作り手の交流の中から、全国の草わけ的存在として、昭和60年に「クラフトフェア」が始まりました。作り手が交流することを目的として続けていたフェアは、作り手同士が集まって、自分たちの力で創意工夫して作り上げてきました。その甲斐あって、回を重ねるごとに全国から多くの人々が訪れるようになり、30年が過ぎて、市の代表的なイベントの一つとして注目されるようになり、やがて全国へ広がっていきま

クラフトフェアの力が
工芸の五月へ

平成19年には、そんなクラフトフェアの力を源に、工芸と暮らしを結びつける場として、松本市市制施行100周年記念事業のなかのイベントとして「工芸の五月」が始まりました。毎年、市内の井戸や水路で、

— も く じ —

さあ「工芸の五月」です	2
同報系デジタル	
防災行政無線の本格運用開始	5
臨時福祉給付金と	
子育て世帯臨時特例給付金の申請受付	6
受けよう！がん検診	8
人間ドック助成制度	9
詐欺的な手法に注意！	10
サイトウ・キネン・フェスティバル松本	
6月7日(土)チケット発売	11
コラムのページ	12
情報チャンネル	14
6月の相談日	33
誕生記念樹をさしあげます	34



▲「建築家と巡る城下町」より

あるいは普段は閉め切られた木工場の奥で、工芸に対する楽しい仕掛けが用意されています。工芸を通じて、いつもの松本のまちが更に親しみを増します。まちとは、人々の暮らしそのものです。工芸に親しむことは、まちを楽しむことにつながります。

工芸の魅力を生かした
まちづくり

市では、松本商工会議所などと共に、NPO法人松本クラフト推進協会が中心となった「工芸の五月実行委員会」の一員として、協働で「工芸の五月」の運営にあたっています。

主に市街地の交通渋滞の対策として、「バスDAYまっもと」を実施するほか、工芸の魅力を生かしたまちづくりの一環として、市立博物館、美術館、Mウイングなどの公共施設では、各種関連講座や関連イベントを行っています。今後、松本の宝である「工芸の五月」を大事に育んでいきます。

工芸の五月 に参加して いる市民の みなさん



▲池上邸のガラス細工

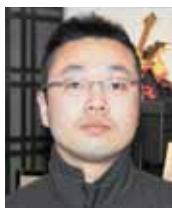


池上直子さん

5～6年前から自宅の池上邸で、工芸の展示をしたり、水出しコーヒーを入れたりしています。若い人に、工芸を見て触れて、本物を見る目を養ってほしいと思います。



▲ほろ酔い工芸



村山謙介さん

商店と関わりのある職人や工芸作家と、松本の伝統的な手仕事を紹介する「商店と工芸 2014」を開催します。まちなかを散歩しながら、松本市の魅力を見つめませんか。



▲商店と工芸



福澤崇浩さん

今年も、工芸作家がつくった酒器でお酒を楽しむ「ほろ酔い工芸」を開催します。工芸の五月を多くの市民の方に知っていただき、盛り上げていきたいです。



▲源池会



三村隆彦・修子さん

「源池会」という地域の行事で工芸作家の皆さんと関わっています。工芸を通して、地域の皆さんとの交流が生まれ、湧水など地域の宝に気づかされました。

工芸の五月2014 公式ガイドブック



松本のものづくりの世界をさらに知るためのガイドブックとして、松本散策を楽しんでいただくために、工夫を凝らして作られた冊子です。松本と松本近郊の全参加ギャラリーの企画展情報も掲載しています。

- 定 価 500円
- 販売場所 市立博物館、美術館、松本市観光情報センター、松本市観光案内所 など

NPO法人

松本クラフト 推進協会



代表 伊藤博敏さん

「クラフトフェア」は元々、工芸作家が交流し、情報を共有できる場として始まりました。平成19年からは、クラフトフェアを含めた「工芸の五月」になりました。

暮らして切り離せない工芸という媒体を通して、松本の魅力を再発見するためのイベントです。松本のまちが、より魅力的になる仕掛けを用意しています。

「工芸の五月」に松本の「場の力」は欠かせないと思います。いずれは、松本が工芸の発信地になることを願っています。

マイカーはお休み、バスでまちに出よう!

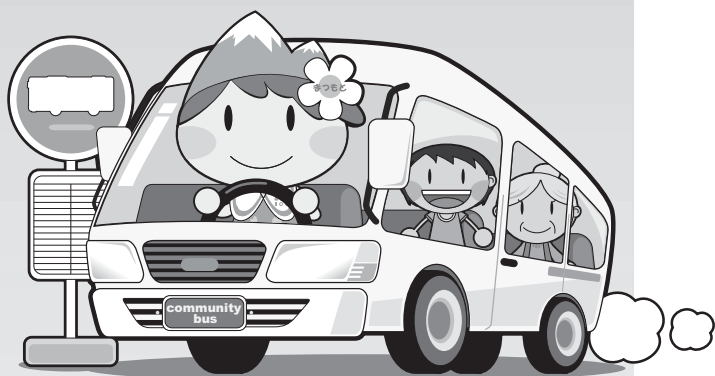
クラフトフェア開催日の

5月24日(土)・25日(日)は で バス DAY まつもと

毎年、あがたの森公園で行われるクラフトフェアまつもと開催期間中は、県内外からのマイカーで、市街地に交通渋滞が発生しています。

そこで、この2日間に松本市近郊の路線バスを1乗車100円で利用できる「バスDAYまつもと」を実施します。ぜひ、バスをご利用いただき、交通渋滞の解消にご協力ください。

- 対象 松本市近郊を運行するアルピコ交通株式会社の路線バス全線（上高地・乗鞍地区を除く）
松本市西部コミュニティバス
松本市営バス（四賀線、奈川線）
四賀地域バス
- ダイヤ 平日ダイヤ
- 運賃 大人100円／1乗車
小学生以下無料
1日バス券300円（アルピコ交通路線バス）
※当日車内で購入できるほか、松本バスターミナルなどで販売
- 問い合わせ アルピコ交通株式会社
乗り合いバス営業部（☎28-3111）
市役所都市交通課（☎34-3033）



30th クラフトフェアまつもと

- 期日 5月24日(土)・25日(日)
- 会場 あがたの森公園
- 内容 クラフト作家による作品の野外展示・即売など
- その他 県松本合同庁舎にパークアンドライド駐車場を設置し、タウンズニーカー西コースを増便しますので、松本駅アルプス口までの移動にご利用ください。
※会場周辺には専用の駐車場はありません。近隣の商業施設に駐車しないようお願いします。
- 問い合わせ 松本クラフト推進協会
(☎34-6557 ☎34-6545)
市役所商工課 (☎34-3110 ☎34-3008)

「工芸の五月」のまち歩き

工芸でにぎわうまちを散策しながら、クラフトフェアが開催されるあがたの森公園へ向かいます。昼食は各自でご用意ください。

- 日時 5月25日(日)
午前10時～午後1時
- 会場 Mウイング集合
- 定員 30人
- 料金 無料
- 申し込み・問い合わせ
生涯学習課・中央公民館
(☎32-1132 ☎37-1153)